

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2015_06_13 札幌会場)
 ~みんなに読む楽しさを伝えよう~

参加者 49、アンケート回収 43

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	2	
ちらし・DM	11	
友人・知人の紹介	19	
ウェブサイト・ブログ	3	図書館 HP 1、特別教育支援センター1
メーリングリスト	1	
その他	7	ラジオ (NHK) 3、テレビ (NHK) 1、札幌市中央図書館 1、札幌市教育委員会イントラネット 2
合計	43	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
39	4	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・最前線での状況と情報を聞くことができ、得るものが多かったです。ここで聞いたものを、現場でどう使うか、発展させるかについての情報もあったので助かります。 ・様々な教材を具体的に示していただいたので、役立つ可能性がよく分かりました。 ・新しいテクノロジーで学習を進められると良いと思いました。ソフトの実例が見れたのは良かったです。 ・子どもの本の活動を長く続けていますが、このような研究会があることを知り、興味深く参加しました。様々な角度からのアプローチされた内容で、一般人としては、少し難しいところ(特に IT 分野)がありましたが、勉強になりました。このような図書や事業があることをもっと多くの人に広めていくのに一役買えたら良いなと思います。 ・職業上個人的に課題となっている、教育のバリアフリーについて、大変参考になるとともに大きな示唆をいただいた。ただ、いまだ個人段階での必要感は全体への波及へと広げ、深めていくのが難しい環境にあります。(難しい環境…公教育の中の教育予算、保護者の理解不足～「特別」を敬遠する傾向、研修の機会不足〈指導者、利用者不足〉他)。こういった研修が今後も発展していただけることを期待し、今回参加させていただいたことを心からお礼申し上げます。 ・「子どもの学び」の方法を多様に考慮することが求められる今日、学びの本質を大切にしながら、ICT の活用など具体的に学ばせていただきました。様々の観点をもつ講師の先生方のお話は、障害⇔読書⇔学びについて、広く考えさせられました。 ・支援が必要な人達に、どう関わっていくかということで、いくつかアイデアや方向性みたいなものがわかってきました。その人が本来持っている能力とテクノロジーの力を活用することで、生活や人生が豊かになるならば「当事者一人ひとりがスムーズに活用できるようなサポートを考えていこう」と思わせてくれる講座でした。先生方、ありがとうございました。 ・専門家の方達から種々な新しい知識を与えていただきました。知らないままに過ごしていることがなんと多いことかと痛感しました。テクノロジーの進歩が障害のある人々の「生きづらさ」の軽減と生きる意欲の増進につながることはすばらしいことだと思いました。 ・マルチメディア DAISY 図書というものも数年前に初めて聞きました。「読み書きが困難な人」についても、全く知識がなかったので、今日勉強できて良かったと思います。いろいろな分野の先生のお話は、いずれもとても興味深かったです。デジタル分野の話もビジュアルで体験できたのは、ありがたかったです。

- ・読み書き障害の子ども達のが、少し理解できたような気がします。ICT というと自分には敷居が高いように感じていましたが、使っても使わなくてもよい、選択肢を増やすことが大切ということが理解できました。また、iPad を使うことは考えないことになるのでは…という認識がくつがえりました。「考える場面」を作ることは子どもを指導する上で共通して大切なことだと思いました。
- ・点字本や拡大図書などが、ボランティアさん達の方でこれまで続けてこられたことに感動しました。
- ・知らないことをたくさん知れました。自分や周辺の人達ももっと活用すべきと思いました。今日知ったこと、気づいたことを広めたいと思います。
- ・5、6年以上前、マルチメディア DAISY 図書作成の現場を見せていただいたことがありました。多少興味がありましたが、知識としてはほんの一部だったと認識。今日はとても勉強になりました。
- ・充実した講師陣とその講義内容でした。より広範囲な方々に受講してほしい研究会でした。財団の熱いおもいを感じることができました。協力できる部分で頑張りたいと思います。
- ・バリアフリー資料の活用法や、バリアフリー資料が生まれた背景、これらの事業に取り組まれている方々の想いなどを知ることができて大変有意義でした。
- ・非常にわかりやすく、理解度が高まった。
- ・ディスレクシアについて知りたくて参加しました。大変わかりやすく楽しく受講することができました。また、ディスレクシアだけでなく様々な障害をこえるための方策があることがわかり、大変勉強になりました。また、障害のある方、違いのわからない方が、どのように感じるかをシュミレーションできたのがとても理解が深まり良かったです。
- ・学習障害の子どもに対する認識をあらたにした（河野先生のお話より）
- ・講師の方々の情熱を感じるとともに、現状を知ることができてとても良かった。
- ・障害のある子どもへの支援方法について具体的事例をあげて説明してもらい理解が深まった。
- ・ディスレクシアについて詳しく知ることができた。またその支援の方法もいろいろご紹介いただき、とても勉強になりました。バリアフリー資料やその他の資料について、実際に見たり手にとることができて、貴重な機会でした。
- ・障害のある子どもたちに電子図書やタブレット端末などが役に立つということがよくわかりました。
- ・多彩な内容で、様々な支援のアプローチを知ることができた。
- ・今日は大変勉強になりました。私が指導している子達は知的発達障害を持っている子が多いですが、今回学んだことを活かして、今後も子ども達と接していきたいと思います。
- ・河野先生の「読み書き障害」に関する様々な事柄のお話は、とても興味深く、心に残った。伝達方法の中で、マルチメディア DAISY の本は聞きやすいし、拡大、フラッシュの色の選択、早い、遅いも自在で便利と思った。特に「障害のある人にとって良いことは、どの人にも良いことである」との言葉が印象的でした。話すと文字に変わる機種もすごいと思った。
- ・金森先生の ICT について、近年とても進んでいて、そのどれを利用するかは本人だが、何よりも本人の意志で進められることは大きい。参加して良かったです。
- ・研究会のテーマに沿って幅広い視点からの話を伺うことができました。国内有数の講師の方々の話を 1 日で聞ける機会を、北海道で作っていただきありがとうございます。
- ・どの先生のお話も興味深かった。読書⇒本の楽しみをすべての子ども達に楽しんでもらいたいと思っているが、現実的に障害のある子達には、厳しいと思っていた。使える技術を積極的に利用していく必要性を感じた。
- ・多くのためになる情報ありがとうございます。今からでもすぐに使えるようなアプリ、ツールを多く紹介いただくことができ、早速、週明けから実践していきたいです。「情報」を誰もが使いやすい形で受け取れる社会をめざしていきたいです。
- ・今まで伊藤忠記念財団が、このような活動をしていると、全く知らなかったのが、とても驚きました。とても素晴らしいと思います。学校で活用できる教材・工夫が盛り沢山で、すぐに使えると感じ、早速来週から使ってみたいです。講師の先生方、それぞれとても貴重な内容で、一度で 4 人の先生方のお話を聞けるなんて、本当にぜいたくな 1 日でした。本当に参加して良かったです。「道づれ作戦」とてもいいですね。
- ・読み書き障害の概要を知ることができた。

- ・発達障害については仕事柄ふれる情報がたくさんあるが、学習障害や ICT の活用については、あまり研修に行っていなかったもので、今回はとても分かりやすい情報提供で良かった。
- ・読み書き障害の特徴はわかっていたのですが、支援方法に迷っていました。とても明確で試してみようという内容でしたので良かったです。
- ・特別支援教育に携わっているので、興味をもって参加しました。縁あって、かつてふきのとう文庫の小林理事長とも親しくさせていただいたこともあり、なつかしい気持ちもありました。素人の人達に様々な場で発達の偏りを話す機会があるので、本日の話の内容、語り方のいろいろが、大変参考になりました。
- ・中身が充実していて勉強になりました。支援に役立ちそうです。伊藤忠がこのような活動をしているのは知りませんでした。企業イメージがあがりました。
- ・読書バリアフリー研究会に参加させていただきありがとうございました。総合商社主催でしかも参加者は教員の方々を中心！緊張したままでのスタートでしたが、開始早々、矢部さんの語り口から何か柔らかい雰囲気を感じ、そこからは楽しく受講できました。私自身は司書の仕事をしておりますが、ボランティアとして障がい者とも関わりを持っていますので、今回の講座の内容は非常に有意義でした。児童文学（特に絵本）の勉強を続けていますので、デージー、バリアフリーの絵本なども非常に興味深く拝見しました。近日中に聾学校図書室に行く予定がありますので、読書バリアフリーという視点であらためて現状を見ようと思います。一人ひとり、それぞれに合わせた支援によって子ども達が本の内容を理解し、楽しめるようになることを心から願ってやみません。教育の可能性を見た気がします。
- ・ガイドヘルパーの仕事でしたが、知らないことがたくさんあり、大変勉強になりました。
- ・講演の中で、ICF の考え方（環境因子）や、なるべく早い時期から補助、代替支援を行うことの必要性、大切さについて学びました。自分を振り返ると、分かっていながら「もっと努力！」「がんばれ」と押しつけていた部分もあったと思います。そういった時は必ず子どもと衝突してしまい、良い結果は出ません。また、代読や代筆の効果も学びました。今後の実践につなげていきたいです。また、担当している子どもが最近本に興味を示し始めています。読み聞かせなどしながら本に親しめるよう支援していきたいです。
- ・障害を持つ子ども達に読む・知る・楽しむ権利があることをしっかり身につけるための活動はその子達が社会生活を営む時代になった時、日本が一人前の福祉の国となるのだと確信しています。このような研究会を継続なさってください。
- ・講座、それぞれ大変興味深い内容で、勉強になりました。個々の障害によって支援の仕方は違うので、その子（人）にあった支援の仕方（機器も含めて）を広く知ることができて良かったです。さらに、いろんな機器を使いこなせるよう勉強していきたいと思います。
- ・2才半の子どもを育児中で、布の本、そして学習障害児に関する本の情報（DAISY 図書など）、現状を知ることができた。
- ・私の古い障害者への日本の動きが更新できました。

やや満足の理由

- ・読書を支援するということで、大変勉強になる。支援の情報が多く、興味深いものばかりで、しっかり理解していきたい。しかし、当事者の考えが少ないところがある。当事者の状況と考えは何を支援するにも必要である。（午前みの参加）
- ・時間の都合で金森先生のお話のみを聞かせていただいたのですが、大変興味深かったです。もう少し実際の機器等を利用した具体的な（デモ的な）ものを見たかったなと思いました。
- ・障害者への支援などふみこんだ会はあまり聞いたことがないのでとても勉強になりました。
- ・内容が濃く、体力消耗なので休憩時間をもう少し長く欲しかったです。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・「できるだけ早く！」とは本当ですね。子どもの成長は本当に早い。ありがとうございました。
- ・今後も続けていただきたいと思います。
- ・物があっても使える人を増やすのが重要だと思います（自分も含めて）。
- ・今後も子ども達の読書と学びと生活のために、ご活躍ください。ありがとうございました。
- ・児童文学（特に絵本）、そして手話を勉強中です。読書バリアフリーのために、多くの人が色々な形で関わっていると知り、感動しました。（余談ですが、著作権はなかなかややこしく、司書としても読み聞かせボランティアとしても、いまだに迷うこともありますので、矢部さんの話には、クスリとしてしまいました。）
- ・「道づれ作戦」のご成功、お祈りいたします。
- ・とても有意義な勉強会ですので、ぜひまた開催していただき、もっと多くの人に聞いてほしいと思います。
- ・またぜひこのような研修会を企画してください。
- ・大変面白かったです。ありがとうございました。今日のような集まりを時々北海道でも開いてください。
- ・とても楽しく受講することができました。どうもありがとうございました。
- ・学校現場の先生など、直接子ども達と関わる人達にも、ぜひ参加して欲しいと思った。道内の他市町村での実施ものぞみます。
- ・伊藤忠さんがこのようなことをしていることを初めて知りました。よい活動、お仕事ですね。これからも頑張ってください。私もできることから始めます。
- ・素晴らしい講演内容でした。伊藤忠記念財団や本日講師をしてくださった先生から、札幌市の教職員が直接学ぶ場が欲しいと思いました。ありがとうございました。
- ・講師のみなさん、ありがとうございました。
- ・私も一昨年、原因不明のてんかん発作があつて、その時から読み書きが少し困難になりました。でも、今は舞台役者やモデルや朗読の活動を札幌でしています。障害や病気を持っていて、自由がきかないこともあり、つらい時もありますが、自分なりに頑張っています。障害を持った人達のサポートってすごく大変なんだと思いますが、これからもよろしくお願いします。
- ・ぜひ末永く全国に広く進めて行っていただきたいです。
- ・会場が暑かった。
- ・会場はデスクがあった方がよかったです（資料もたくさんあったので）。
- ・インクルーシブ教育の流れの中で、子どもはもちろん、保護者への発信をもっとするべきだと思う。誰もが暮らしやすい社会の中で、自分らしく生きることについて可能性を広げてくれる手立てをもっと知らせるべきだと、普及させることにお金をかけるべきだと改めて感じる（特に行政）。
- ・日頃あまり気にしていない図書館ですが、久しぶりに足を運び新鮮でした。
- ・椅子が長時間座るのに向いていないのが残念でした。
- ・私は視覚障害者であるが、資料のデータを提供いただき、大変嬉しく思いました。ありがとうございました。
- ・ゆりかもめやディズニーランドも特別支援学校では修学旅行に行くこともあるので、作られたらいいかと思いました。
- ・マルチメディア DAISY 図書が普及するよう、私どもの図書館も製作に入っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・会場もゆったりしていて、講師の先生のお話もとてもわかりやすくていねいで聞きやすかったです。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・親へのサポート、支援についての情報をもっと知りたい。
- ・今日は遠いところをありがとうございました。伊藤忠さん、メセナのためにこの事業を続けてください。
- ・今日は読書という誰もが求める文化的な行為に様々な理解を図ることができました。これを機に意識をさらに高くして、自分にできることを考え、取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。
- ・この様な研究会、講演会をたくさん開いて、障害のある人もない人も、iPad 等を使えば可能性が広がることを知り、高めて行って欲しいです。金森先生がわかりやすく、参考になりました。
- ・五感の力の成松先生のお話はいろいろ知りたいことばかりだったのですが、内容がたくさんあり、ゆっくり聞きたいです。

- ・私は持病があるため、月 1 回大学病院へ通院しています。夏休み、春休みになると、全道から子ども達が親御さんと診察を受けに集中します。その時、本にくっつきながら何とか見えるようにしている子、びっくりしたのは、1 つ目の女の子。車イス、移動ベッドで横になっている子、本当にたくさんの障害のある子ども達を目にします。また、発達障害の子が興奮する様子も見ます。親御さんのお気持ち（待合室で話してみることもあります）は、みなさん「なんとか生きてもらえるように。普通の子と同じように」です。そのためには、健康の次に大切なのは情報と教育なんだと実感していました。ですが、その情報は、私達「健常者が一方的に選んで与えている」ものです。自由に自分の欲しい情報をとりに行く、主体的に考えて取り組む、これが生きる喜びだと思います。日本は後追い福祉ですが、物理学者のホーキング博士のように障害者の中から人類の知識を、私たちに逆に与えてくれる方が出てくることを期待しています。
- ・宣伝方法、何かお手伝いできたらと思いました。すごくいいセミナーでもったいない。若い人に今日の図書資料（点字本・布の本・マルチメディア DAISY）を見せたかったです。見たことがあると理解も広がりますよね。
- ・未記入 11